

学校運営連絡協議会

【学校運営連絡協議会設置要綱】

第1（名称）

この会の名称を「都立光丘高等学校 学校運営連絡協議会」（以下、「協議会」という。）とする。

第2（目的）

本校の教育活動が、保護者や地域住民に理解され、かつ、本校の学校運営に保護者及び地域社会の方々の意向が反映され、本校が地域に根ざしてより発展していくための学校支援組織とすることを目的とする。

第3（所掌事項）

協議会は、学校運営に関する意見交換、教育活動の観察並びに学校評価等を通して協議を行い、校長に対して本校の学校運営、教育活動及び家庭や地域社会との連携について助言する。

第4（組織）

協議会の委員は、校長の他、次のとおりとする。

協議委員は、校長が委嘱する保護者代表2名、同窓会代表1名、近隣中学校長1名、地域住民代表3名、スクールサポーター1名、練馬区教育委員会1名とする。

内部委員は、副校長、経営企画課（室）長、主幹教諭（教務主任兼務）、主幹教諭（生徒指導主任兼務）、主幹教諭（進路指導主任兼務）、保健総務主任の6名とする。

2 協議会の中に学校評価委員会（以下、「評価委員会」という。）を置く。評価委員会は、協議会が行う外部評価を計画、立案、実施並びに集計し、学校評価報告書原案を作成する。

評価委員会の委員は、協議会委員の中から校長が委嘱する。

第5（任期）

委員の任期は、原則として当該年度の4月1日から3月31日までとする。

第6（役員）

協議会に、次の役員を置く。

会長1名、副会長1名、評価委員会委員長1名、事務局長1名

2 会長は、校長とする。

3 副会長、評価委員会委員長及び事務局長は、校長が選任する。

第7（協議会の開催回数及び開催時期）

協議会は、5月、10月及び3月の年3回開催する。

第8（協議会の公開）

協議会は、原則として公開とする。ただし、会長が必要とする場合には、会長の判断により非公開とすることができる。

第9（事務局）

都立光丘高等学校に協議会事務局を置く。事務局に事務局長を置き、保健総務主任をもって充てる。

第10（その他）

この要綱は、校長が必要に応じて改正する。

（附則）

この要綱は、令和3年4月1日から施行する。

【令和4年度 東京都立光丘高等学校 学校運営連絡協議会実施報告書】

1 組織

- (1) 都立光丘高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主任教諭(保健総務部主任兼務)＝事務局長、保健総務部員1名 計2名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、主幹教諭(進路指導担当)、保健総務部主任 計7名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）
PTA会長、前PTA会長、練馬区立豊浜中学校長、光が丘第一自治会会長、練馬明るい社会づくりの会理事、練馬区青少年育成第六地区委員会副会長、警視庁光が丘警察署生活安全課少年第1係スクールサポーター、練馬区教育委員会教育指導課統括指導主事、東京都立光丘高等学校同窓会事務局長、計9名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年5月17日（火）内部委員7名、協議委員9名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和4年10月18日（火）内部委員7名、協議委員7名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和5年2月28日（火）内部委員7名、協議委員7名
学校評価の報告及び学校運営に関する提言、協議
次年度に向けた方向性の確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和4年5月17日（火）
内部委員3名、協議委員3名
評価委員委嘱、学校評価の基本方針の確認
 - 第2回 令和4年10月18日（火）内部委員3名、協議委員3名
今年度の学校評価案の観点・項目、内容の検討
 - 第3回 令和5年2月28日（火）内部委員3名、協議委員3名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書（案）の検討

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「授業満足度」、「進路満足度」、「部活満足度」、「行事満足度」、「学校満足度」、「施設設備や外部対応」、「近隣からの評価」：の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・2月 全校生徒 対象：607人
 - ・2月 保護者全員 対象：607人
 - ・2月 地域・住民 対象：51人
 - ・2月 教職員 対象：51人
- (3) 主な評価項目
・学校教育目標の理解、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、読書活動、健康・安全、施設・設備、経営企画室の対応、ライフ・ワーク・バランスの推進、学校満足度
- (4) 評価結果の概要 ※数字は、よくあてはまる・あてはまるを足した、肯定の割合【生徒・保護者・教職員】

観点	項目	生徒 (%)			保護者 (%)			教職員 (%)				
		前々年	前年	本年	前々年	前年	本年	前々年	前年	本年		
授業満足度	3. 学校は基礎学力及び発展的な学力が身に付くように努めている	85	83	82	1年	85	74	73	79	83	88	98
					2年	80						
					3年	82						
進路満足度	12. 先生は進路に関する相談にきめ細かく対応してくれている	91	84	81	1年	80	79	77	69	92	91	95
					2年	75						
					3年	86						
部活満足度	13. 本校では部活動の活性化に向け、積極的に教職員が取り組んでいる	86	79	75	1年	75	79	75	78	91	82	78
					2年	69						
					3年	82						
行事満足度	14. 生徒は学校行事に積極的に参加している	89	87	88	1年	91	86	84	89	67	82	85
					2年	85						
					3年	87						
学校満足度	20. 学校は全体的に考えて満足できる	67	63	60	1年	57	74	73	75	64	79	88
					2年	51						
					3年	73						
施設設備・外部対応	17. 施設設備の不備などはすぐに対応し修繕している。	68	73	60	1年	58	72	61	73	78	70	78
					2年	54						
					3年	67						

【近隣】

- ・「授業満足度」については、生徒と保護者は、肯定的が8割、教職員はほぼ100%が肯定的である。
- ・「進路満足度」については、生徒の8割が肯定的で理解している。一方保護者は7割。教職員は9割

	項目	前々年 (%)	前年 (%)	本年 (%)
1	本校生徒の通学マナーは守られている。	77	90	100
2	本校生徒は礼儀正しいふるまいができています。	92	80	95
3	本校生徒に対する服装や髪型指導はよくできています。	100	100	100
4	本校は、近隣の地域の活動に協力的である。	77	80	79
5	本校の部活動は活発であると感じている。	77	90	100
6	学校からの情報（授業公開・公開講座・学校施設開放など）は、伝わっている。	69	65	60
7	本校は全体的に考えて満足できる。	92	85	95

肯定的である。

- ・「部活満足度」については、生徒と保護者、教職員とも7割を超える肯定である。
 - ・「行事満足度」で特徴的なのは、1年生が91%肯定的であった。
 - ・「学校満足度」については、生徒では、学年が上がるにつれて肯定的意見が増加している。
 - ・「近隣からの評価」については、年々上昇し、落ち着いた学校、満足する学校という肯定的意見が8割以上である。
 - ・「施設設備・外部対応」については、今年度、放送設備、トイレ自動手洗い、自動照明、床張り替えなどを行った結果、評価が上昇した。生徒にもPRが必要。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
- ・「授業満足度」については、保護者が上昇し生徒の割合に近くなっている。生徒は、肯定的が8割でおおむね本校の教員の授業について満足している。また、教職員が100%に近く授業力向上の姿勢が見える。
 - ・「進路満足度」については、生徒は8割肯定的で理解している。教職員は9割肯定的で、教職員が進路活動に力を注いでいることがわかる。一方保護者は、減少傾向にあり、本校の進路指導を広報する必要がある。
 - ・「部活満足度」については、生徒、保護者、教職員とも7割強で肯定的である。今後とも、本校教職員の力の注ぎ方を一層PRする必要がある。

- ・「行事満足度」で特徴的なのは、1年生が91%肯定的であったことである。これは、コロナ感染拡大防止の中、中学校で行えなかった文化祭が、本校で行えたことが肯定的意見増加の背景にあると推測する。この項目では、教職員の評価が生徒保護者に比して若干低い。教職員の求めるレベルの高さが現れていて、行事は教職員が先頭に立って行っている。今後が楽しみである。
- ・「学校満足度」については、生徒が1年生に比べ2年・3年生で肯定的意見が増加していることから、本校に在籍すればするほど愛着が出てくることが推測できる。また、保護者の評価が年々上昇し、前前年数値が高いことは、保護者の信頼が厚いことを表している。また、今年度教職員の満足度が上昇した。これは、生活指導上の問題行動が急激に減り、落ち着いた学校であることからだと推測する。
- ・「近隣からの評価」については、年々評価が上昇し、学校満足度も85%と高い。しかし、情報発信が不足しているためPRを行っていく必要がある。
- ・「施設設備・外部対応」については、今後も、迅速な対応を願う。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
 - ・生徒募集が課題であるが、それに対していくつかの有益な提言があった。例えば、学校の特色を打ち出すこと。良さをアピールすることなど。
 - ・本校の生活指導について好感が持てる。今や、落ち着いて学校であるという、学校運営の成果が寄せられた。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
 - ・近隣からの評価が上昇し、満足度が上昇した。一方、情報発信では、ホームページに頼るだけでない発信を行う必要がある。
 - ・入学者選抜の応募人員の不足が深刻な問題であるが、教員の善意と、補習等に頼る体質などではなく、学校としてどのような教育を入学生にするかの具体的な方策が無いという課題が明らかになった。また、どのような生徒を募集するかが、明確でないという課題が明らかになった。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

- (1) 学校運営
 - ・生徒・保護者に対して、機会あるたびに学校の教育方針を説明し理解を得る。
 - ・募集対策は、学習指導、生活指導、進路指導、経営企画室運営すべてに関わっているので、それらを総合的に改善し、具体策を共有し進めていく。
 - ・生活指導については、今まで以上に保護者との連携を強化する。
- (2) 学習指導
 - ・生徒増につながる学習指導体制を具体的に構築する。
 - ・ICT機器を活用した教員による授業改善を図る。
- (3) 特別活動
 - ・部活動の活性化及び、地域との連携を一層推進する。
- (4) 生活指導
 - ・落ち着いた学校という本校の姿を変えることなく、基本的な生活習慣の確立を目指し、生活指導部が中心となった全校体制をさらに強化していく。
- (5) 進路指導
 - ・生徒増につながる進路指導を具体的に構築する。
 - ・キャリア教育全体計画に基づき、生徒の段階に応じた計画的な指導を実現する。
- (6) 健康・安全
 - ・組織的な教育相談活動の効果的な活用を推進していく。
 - ・新型コロナウイルス感染症防止対策を推進する。

6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 9人
- (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
9						

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 職員会議 無し 企画調整会議 無し

8 その他

- ・学校運営連絡協議会で提言された内容を、もとに、本校教育活動の良さをのばし、不十分な点を改善することにより、特に課題である、生徒募集について、課題解決を図る。